

# TOEIC<sup>®</sup> Newsletter

**特集** 2007年1月実施の公開テストからスタート

## TOEIC<sup>®</sup>スピーキングテスト/ ライティングテスト

TOEICブランドの新たなプログラムとして、2007年1月実施の公開テストよりTOEICスピーキングテスト/ライティングテストを導入いたします。これにより、TOEICプログラムではリスニング、リーディング、スピーキング、ライティングという4つの英語能力のすべてを直接的に測定することが可能となりました。

今号では新テストの開発経緯、構成と内容、その特長など、TOEICスピーキングテスト/ライティングテストの全貌をご紹介します。



### CONTENTS

|                                        |    |
|----------------------------------------|----|
| <b>特集</b> TOEICスピーキングテスト/ライティングテスト     |    |
| TOEICスピーキングテスト/ライティングテストの概要            | 2  |
| <b>Report</b>                          |    |
| TOEICスピーキングテスト/ライティングテスト発表会ダイジェスト      |    |
| テスト開発の背景                               | 4  |
| テスト内容と特色について                           | 6  |
| TOEICスピーキングテスト/ライティングテスト テスト結果について     | 12 |
| TOEICスピーキングテスト/ライティングテストに関するQ&A        | 14 |
| TOEICスピーキング/ライティング オフィシャルプラクティステストのご案内 | 17 |
| <b>Information</b>                     | 18 |
| 編集室より                                  | 18 |

# TOEIC®スピーキングテスト/ ライティングテストの概要

## 測定する能力、テスト構成について

TOEICスピーキングテスト/ライティングテストは、国際的な職場環境において、効果的に英語でコミュニケーションするために必要な、「話す」「書く」という能動的な能力を測定するテストです。具体的には、以下のような能力が受験者に問われます。

### 〈TOEICスピーキングテスト〉

1. 英語のネイティブスピーカーや英語に堪能なノンネイティブスピーカーに理解しやすい言葉で話すことができる
2. 日常生活において、また仕事上必要なやりとりをするために適切に言葉を選択し、使うことができる(例えば、指示を与えたり受けたり、情報や説明を求めたり与えたり、購入、挨拶、紹介ができる等)
3. 一般的な職場において、筋道の通った継続的なやりとりができる

### 〈TOEICライティングテスト〉

1. 適切な語彙・語句を使用し、正しい文法で文を作成できる(従属節を含む)
2. 簡単な情報、質問、指示、話等を伝えるために複数の文で構成される文章を作成することができる
3. 複雑な考えを表すために、状況に応じて理由、根拠、詳しい説明などを述べながら複数の段落から構成される文章を作成することができる

これらの能力を評価するべく、TOEICスピーキングテストは、音読問題、写真描写問題、応答問題など、計11の設問から構成されています。テスト時間は約20分です。TOEICライティングテストは、写真描写問題、Eメール作成問題など、計8つの設問で構成され、テスト時間は約60分です【資料】。

なお、両テストではTOEICテストと同様、一般的な、またはビジネスでのコミュニケーションの場面が採用されていますが、特殊なビジネス英語や特定の業界、分野の知識を必要としたり、その国

の歴史や文化に関連する固有の事象が分からなければ解答できない問題などは出題されません。

## 実施方法について

TOEICスピーキングテスト/ライティングテストはTOEICテストを制作した米国の非営利テスト開発機関Educational Testing Service (ETS) (詳しくは5ページ) のInternet-based test (iBT) というシステムを通して実施されます。これはETS認定テスト会場のパソコンにインターネットを介してテスト問題が配信されるもので、受験者はTOEICテストのように紙と鉛筆を用いて解答するのではなく、パソコン上で音声を吹き込んだり文章を入力していくことになります。

## 採点方法とテスト結果の表示

採点はオンライン・スコアリング・ネットワークを通じ、ETSのトレーニングを受けた採点者によって行われます。テスト結果は、TOEICスピーキングテスト、TOEICライティングテストの各スコアが0～200点で10点刻みで表示されます。また、TOEICスピーキングテストでは8段階、TOEICライティングテストでは9段階によるProficiency Level Descriptors (レベル別評価) も表示されます。さらにTOEICスピーキングテストにおいては、発音とイントネーションに関する評価が表示されます(詳しくは12、13ページ)。

TOEICスピーキングテスト/ライティングテストは、2007年1月21日実施の公開テストから開始する予定です。なお、団体特別受験制度の導入時期は未定です。決定次第、公式ホームページ等でお知らせいたします。

【資料】

**TOEIC®スピーキングテストの問題形式**

問題数： 計11問  
 テスト時間： 約20分  
 [テストの構成]

| 内容                                                                   | 問題数 | 解答時間                  | 課題概要                               |
|----------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------|------------------------------------|
| Read a text aloud<br>(音読問題)                                          | 2   | 各問45秒<br>(準備時間各45秒)   | アナウンスや広告などの内容の、短い英文を音読する           |
| Describe a picture<br>(写真描写問題)                                       | 1   | 45秒<br>(準備時間30秒)      | 写真を見て内容を説明する                       |
| Respond to questions<br>(応答問題)                                       | 3   | 15秒または30秒<br>(準備時間なし) | 身近な問題についてインタビューに答えるなどの設定で、設問に答える   |
| Respond to questions using information provided<br>(提示された情報に基づく応答問題) | 3   | 15秒または30秒<br>(準備時間なし) | 提示された資料や文書(スケジュール等)に基づいて、設問に答える    |
| Propose a solution<br>(解決策を提案する問題)                                   | 1   | 60秒<br>(準備時間30秒)      | メッセージなどを聞き、その内容を確認した上で、問題の解決策を提案する |
| Express an opinion<br>(意見を述べる問題)                                     | 1   | 60秒<br>(準備時間15秒)      | あるテーマについて、自分の意見とその理由を述べる           |

**TOEIC®ライティングテストの問題形式**

問題数： 計8問  
 テスト時間： 約60分  
 [テストの構成]

| 内容                                              | 問題数 | 解答時間  | 課題概要                               |
|-------------------------------------------------|-----|-------|------------------------------------|
| Write a sentence based on a picture<br>(写真描写問題) | 5   | 5問で8分 | 与えられた2つの語(句)を使い、写真の内容に合う1文を作成する    |
| Respond to a written request<br>(Eメール作成問題)      | 2   | 各問10分 | 25~50語程度のEメールを読み、返信のEメールを作成する      |
| Write an opinion essay<br>(意見を記述する問題)           | 1   | 30分   | 提示されたテーマについて、自分の意見を理由あるいは例とともに記述する |

※問題形式・名称等は変更になることがあります

**TOEIC®スピーキングテスト/ライティングテスト 実施に関する詳細**

|            |                                                                                                                            |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 公開テスト実施日   | 2007年1月21日(日)、2月10日(土)、3月11日(日) ※3月以降未定                                                                                    |
| 実施回数       | 年24回(毎月1回[土曜または日曜]、午前・午後1回ずつ実施)                                                                                            |
| 受験地        | 全国の主要都市(東京、名古屋、大阪等)の予定                                                                                                     |
| 実施国        | 開始当初は日本と韓国で同時実施の予定(その後、ヨーロッパ、中国で開始予定)                                                                                      |
| 実施方法       | Internet-based test (iBT)<br>※ ETS認定テスト会場のパソコンにインターネットを介してテスト問題が配信され、パソコン上で音声を読み込んだり、文章を入力して解答する                           |
| 受験対象者・条件など | 受験対象者は特になく、どなたでも受験いただけます<br>※ TOEICテストの公開テストや団体特別受験制度とは別に実施されます<br>※ TOEICスピーキングテスト/ライティングテストはセットでの受験となり、どちらか一方のみの受験はできません |
| 申込・支払方法    | インターネット申込、クレジットカード決済のみ                                                                                                     |
| 受験料        | 9,975円(うち消費税等475円)                                                                                                         |
| 結果発送       | テスト終了後、公式認定証を30日以内に各受験者宛てに発送                                                                                               |

サンプル問題等、詳細については TOEICスピーキングテスト/ライティングテスト公式ホームページ: <http://www.toEIC.or.jp/sw/>

Report

# TOEIC®スピーキングテスト/ ライティングテスト発表会ダイジェスト

去る7月19日(水)・20日(木)の2日間にわたり、TOEICスピーキングテスト/ライティングテストの記者発表会および説明会を開催いたしました。当日はテスト開発元であるETSよりBhaskar Pant氏、John Kochanski氏、Jessica Reeder氏の3名が来日。新テストの開発経緯、出題形式などテスト内容の詳細について発表しました。ここでは、「テスト開発の背景」と「テスト内容と特色」の二部構成で、当日の発表内容をダイジェストでご紹介します。

## テスト開発の背景

### 市場のニーズに応じて開発

本日はEducational Testing Service (ETS)を代表しまして、皆さまにTOEICスピーキングテスト/ライティングテストについてお話できることを光栄に存じます。

英語は今や、世界中の人々にとっての真の“世界共通言語”となりました。アメリカの『Newsweek』誌によると、「英語のノンネイティブスピーカーの数はネイティブスピーカーの数を3対1の比率で上回っている」そうです。アジア地域だけでも、英語を使用する人口は3億5千万人を超えています。

グローバル化が進む今日の世界において成功するためには、英語でのコミュニケーション能力、すなわち聞き、学び、自分の言いたいことを英語で表現する能力を身に付けることが、今まで以上に重要になっています。

英語の利用が職場や日常生活の場で拡大しているに伴い、スピーキングとライティングという能動的な能力の直接的な測定へのニーズが高まってきました。国際的な環境におけるコミュニケーションで使われる英語について数々の調査・検証を重ねてきた中で、この現状を認識し、ETSではTOEICスピーキングテストとTOEICライティングテストを開発いたしました。

### ETSのテスト開発理念

ETSは、1947年に設立された非営利のテスト開

発機関です。そのミッションは、「公正で妥当な評価、リサーチ、関連サービスの提供を通じて、教育の質と公平性の向上に貢献する。ETSの製品とサービスを提供することで、単に知識やスキルを測定するだけではなく、世界中の人々の学びを推進し、教育と専門能力の向上を支援する」こと。つまり、ETSが提供するテストは、常に測ろうとしている能力を正確に測定できる、公平性と信頼性と妥当性が確保された質の高いものであり続けなければならないということです。

TOEICスピーキングテスト/ライティングテストも、このミッションに基づき開発しています。

テストの詳細の発表に入る前に申し上げておきたいことがあります。それは、「テストが時として人生を左右するものである」ということです。テストで良い点を取ることは、夢の実現につながる可能性もあります。そのことを十分認識した上で、私たちはTOEICスピーキングテスト/ライティングテストや今年5月にリニューアルを行ったTOEICテストにおいて、長い年月と費用を投じて研究・開発を行ってきました。そして各テストが信頼性、妥当性、公平性を確保しているか、常に検証を行っています。

ETSでは、今後も受験者の現在の能力の把握とその能力の伸ばし方を示す能力評価を通じて教育およびビジネスコミュニティに貢献することを目標に、テストの質と公平性を継続して確保することに全力を挙げて取り組んでいきます。



**Bhaskar Pant 氏**  
**Managing Director, Asia/Pacific Global Division,**  
**Educational Testing Service (ETS)**

ETSアジア太平洋地区のマネージングディレクター。2006年3月に現職に就任。その前4年間はバーモントに拠点を置く教育機関World Learningのグローバルビジネス言語および異文化間トレーニング部門であるWorld Learning for Businessのマネージングディレクターを務めた。ETSアジア太平洋地区の指揮を執るため、プリンストンからシンガポールに居を移し、中国、インド、日本、韓国、その他ETSの東南アジア太平洋マーケットでの業務を監督する予定である。

World Learning以前は、インドのニューデリーに拠点を置く自身のグローバル効果スキルトレーニングの会社を率いていた。それ以前は、Sony Corporation of America放送システム担当Vice Presidentの他、Tektronixなどアメリカ、ヨーロッパ、アジアの有名企業において国際セールスおよびマーケティングの上級役員職を歴任。また、Turner Broadcasting International南アジア社長として、CNNその他のTurnerテレビネットワークの南アジアへの導入を担当した経歴も持つ。

また、世界中のさまざまなビジネス会議においてビジネスにおける言語および異文化間効果に関する講演を行っており、ロチェスター大学で修士号を、インディアナ大学でコミュニケーション学の修士号を取得している。

## ETSとは

ETS (Educational Testing Service)は、米国ニュージャージー州プリンストンに拠点を置き、TOEICやTOEFLを含む約200のテストプログラムを開発している世界最大の非営利テスト開発機関です。ETSにより制作されたテストは世界180カ国以上で実施され、毎年延べ2,400万人が受験しています。2,500人以上のスタッフを擁し、そのうち約1,100人は、教育、心理、統計、心理測定、コンピュータサイエンス、社会学、人文科学の各分野でトレーニングを受けた、テスト、教育、リサーチに関するエキスパートで構成されています。このほかにも教育分野における調査研究など、幅広い活動を行っています。



**TOEIC**

## TOEIC® 公開テスト実施要領

### ■公開テスト試験日・申込期間および結果発送予定日

第122回公開テスト(2006年5月実施)よりTOEICテストがリニューアルされました  
 ※団体特別受験制度における新TOEICテストの実施は2007年4月からの予定です

| 回数    | 試験日            | 申込期間               | 結果発送予定日  |
|-------|----------------|--------------------|----------|
| 第128回 | 2007年 1月14日(日) | 11月1日(水)～12月 6日(水) | 2月13日(火) |
| 第129回 | 2007年 3月25日(日) | 1月5日(金)～ 2月14日(水)  | 4月24日(火) |
| 第130回 | 2007年 5月27日(日) | 3月1日(木)～ 4月18日(水)  | 6月26日(火) |
| 第131回 | 2007年 6月24日(日) | 4月1日(日)～ 5月16日(水)  | 7月24日(火) |
| 第132回 | 2007年 7月22日(日) | 5月1日(火)～ 6月13日(水)  | 8月21日(火) |

※インターネット申込の場合は締切日翌日の正午までお申し込みができます。  
 ※郵送申込の場合は締切日翌日までの消印がついた申込書が有効です。

### ■受験地(2006年10月現在)

札幌・函館・旭川・釧路・帯広・北見・苫小牧・青森・弘前・八戸・盛岡・仙台・秋田・山形・庄内・福島・郡山・いわき・水戸・日立・つくば・宇都宮・足利・小山・前橋・高崎・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・長岡・富山・金沢・福井・甲府・都留・長野・松本・上田・岐阜・高山・静岡・浜松・三島/沼津・名古屋・豊橋・岡崎・津・四日市・伊勢・滋賀・京都・大阪・神戸・奈良・和歌山・鳥取・松江・岡山・津山・広島・福山・下関・山口・徳島・高松・松山・高知・北九州・福岡・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・那覇

※ の受験地においては年8回の実施ではありません。申込書添付の受験要領または公式ホームページで試験実施日を必ずご確認の上、お申し込みください。

### ■受験料 6,615円(うち消費税等315円)

### ■申込方法

受験申込書は主要書店、大学生協にあります。お近くにない場合はハガキまたはFAXでTOEIC運営委員会東京業務センター申込書請求係へご請求ください。また、公式ホームページからの受験申込も可能です。

### ■試験当日 受付時間/午前11時30分～午後12時20分 終了時刻/午後 3時15分(予定)

※公開テストの他に、企業・学校・団体等の要請に応じて随時TOEICが実施できる団体特別受験制度(IPテスト)もございます。詳細についてはお問い合わせください。

### ■お問い合わせ先

財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

## TOEIC運営委員会

### 東京業務センター

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル  
 TEL (03) 3581-4701 FAX (03) 3581-4783

### 大阪業務センター

〒541-0059 大阪市中央区博労町3-6-1 御堂筋エスジービル  
 TEL (06) 6258-0224

公式ホームページ <http://www.toEIC.or.jp>

公式携帯サイト <http://www.toEIC.or.jp/i/> (iモード専用)

## テスト内容と特色について

続きまして、テスト内容の詳細についてご紹介させていただきます。

TOEICスピーキングテスト/ライティングテストは、教育の質と公平性の向上に貢献するというETSのミッションに基づき、また市場のニーズに応えるために開発されたテストです。テストの設計にはAdvanced Measurement Design Methodologyという独自の方法を用いています。これはETSにおいて開発された設計手法で、受験者について伝えたいこと、今回の場合は英語のスピーキング能力とライティング能力ですが、それをテストにより裏付ける“証拠”を集めることがベースとなっています。

この設計手法では、まず、テストユーザー（団体担当者、個人などのスコア活用者）が知りたい情報は何かを明確にする必要があります。そのため、私たちは受験者について知りたい情報は何か、つまり測定すべき能力を定義、明文化しました。そして、その能力があることを証明するために必要となる“証拠”を与えてくれる問題を選出しました。従って、各問題は言語能力に関する証拠と直接的にリンクしている非常に論理的、科学的なものとなっています。

それでは、両テストに共通する4つの特徴についてご説明します。

一つ目は、設計プロセスです。両テストは、いま申し上げたような方法によって初期設計がなされ、さらに大規模なテスト設計チームによってテスト形式が開発されています。テストに採用されているすべての問題は厳しいレビューのプロセスを経ているのです。

二つ目は、スコアの質と信頼性です。TOEICテスト（リスニング/リーディング）はスコアの質と信頼性の高さで知られていますが、TOEICスピーキングテストとTOEICライティングテストもまた信頼性の高いスコアを提供します。

三つ目は測定する能力レベルの範囲です。TOEICテストと同様、初級から上級まで幅広い能力レベルの受験者を評価します。

そして4つ目は、テスト結果として提供される、

各受験者の能力についての情報です。両テストは、受験者の能力を正確に評価し、有益なレベル別評価を提供することが可能となっています。

それではテストの詳しい内容をご説明していきたいと思います。TOEICスピーキングテストとTOEICライティングテストは、それぞれ独立したテストですので、個々にご紹介していきます。

### TOEICスピーキングテスト

先ほど、テスト設計にあたり、最初のステップとして、受験者について何を測定したいのかを明確にしたとお話いたしました。TOEICスピーキングテストにおけるその内容は何かというと、受験者が国際的な職場環境において、効果的にコミュニケーションをするために必要な話す能力をどれだけ備えているかということです。

この目的に沿って、私たちは初級、中級、上級レベルの受験者を測定する6種類のタスク（課題）からなるテストを設計しました。出題数は全部で11あり、試験時間は約20分となります【資料1】。

では、タスクごとにそれぞれの問題について紹介しましょう。

【資料1】TOEICスピーキングテスト タスクの種類

| 問題番号 | タスク             | 評価基準                               |
|------|-----------------|------------------------------------|
| 1-2  | 音読問題            | ・発音<br>・イントネーション、アクセント             |
| 3    | 写真描写問題          | 上記の事柄すべてに加えて<br>・文法<br>・語彙<br>・一貫性 |
| 4-6  | 応答問題            | 上記の事柄すべてに加えて<br>・内容の妥当性<br>・内容の完成度 |
| 7-9  | 提示された情報に基づく応答問題 | 上記の事柄すべて                           |
| 10   | 解決策を提案する問題      | 上記の事柄すべて                           |
| 11   | 意見を述べる問題        | 上記の事柄すべて                           |



**John Kochanski 氏**  
Global Marketing and Brand Manager,  
Educational Testing Service (ETS)

ETSグローバルマーケティング・アンド・ブランド部門マネージャー。ニュージャージー州のシートンホール大学にて政治学と国際関係学の学士号を、また同大のアジア研究科にて修士号を取得している。大学院に在籍中、ニューヨークの国連本部のDivision of Social and Economic Informationにおいて、インターンシップ生として教育改革から発展途上国における女性の権利にわたるまで、多種多様なプロジェクトに携わった経験を持つ。2002年よりETS Global Divisionに参画。以後さまざまな役職において世界規模でのETS事業拡大の推進に尽力する。



**Jessica Reeder 氏**  
Assessment Specialist, Assessment Development,  
Educational Testing Service (ETS)

ETSのアセスメント(評価)開発におけるアセスメント・スペシャリスト。主にライティングテスト開発のコーディネイト役としてTOEICプログラムに関わる。またスピーキング、リスニング、リーディング開発チームに参画した経験も持つ。ETS以前は、ESL/EFL教師としてアメリカのコミュニティカレッジレベルおよびイタリアの高校生および成人レベルを教えていた。現在はオフタイムに完全ボランティアのESLスクールを運営している。TESLの修士号をペンシルバニア州ウェストチェスターのウェストチェスター大学で、歴史学の学士号をバージニア州ウィリアムズブルグのウィリアム・アンド・マリー・カレッジにて取得している。

### ●音読問題【資料2】

最初の2問は「音読問題」となります。これは初級レベルの受験者の評価をねらいとしています。この問題では、受験者が英語のネイティブスピーカーや、英語に堪能なノンネイティブスピーカーに、理解しやすい言葉で話すことができる能力を持っているかどうかの裏付けとなる証拠を収集することを目的として設計されています。

ここで出題するのは、アナウンスや広告など、50～75語からなる短いテキストを読み上げさせるという問題です。受験者には準備に45秒、解答に45秒が与えられます。

### ●写真描写問題【資料3】

3問目は「写真描写問題」です。出題レベル、問題設計の目的は音読問題と同じです。

### 【資料2】音読問題 問題1-2

- この問題は、受験者が英語のネイティブスピーカーや、英語に堪能なノンネイティブスピーカーに、理解しやすい言葉で話すことができるという能力を持っているかの裏付けとなる。
- 問題の題材は通常声を出して読まれるようなテキストである。
- この問題はテキストを音読することである。
- 各テストにこの問題は2問。
- 受験者は各問題の準備に45秒、解答に45秒与えられる。
- この問題では発音、イントネーション、アクセントが測定される。

ここでは、受験者に1枚のカラー写真を提示し、できるだけ多くその写真を描写させるという問題が出題されます。受験者には準備に30秒、写真の描写に45秒が与えられます。

●**応答問題**【資料4】

4～6問目は「応答問題」です。中級レベルの受験者を評価することをねらいとしています。この問題は、受験者が日常生活において、または仕事上必要なやりとりをするために、適切に言葉を選択し、使うことができる能力を持っているかの裏付けとなる証拠を収集することを目的として設計されています。

【資料3】写真描写問題 問題3

- ・この問題は、受験者が英語のネイティブスピーカーや、英語に堪能なノンネイティブスピーカーに、理解しやすい言葉で話すことができるという能力を持っているかの裏付けとなる。
- ・問題の題材は1枚のカラー写真。
- ・この問題はその写真を描写することである。
- ・各テストにこの問題は1問。
- ・受験者はこの問題の準備に30秒、解答に45秒与えられる。
- ・この問題では発音、イントネーション、アクセント、文法、語彙、考えを表現する際の内容の一貫性が測定される。

【資料4】応答問題 問題4-6

- ・この問題は、受験者が、日常生活において、また仕事上必要なやりとりをするために、適切に言葉を選択し、使うことができるという能力を持っているかの裏付けとなる。
- ・問題は電話調査という形式を取ったなじみのあるトピックに関する3つの質問から成る。
- ・この問題はトピックに関して事実に基づく短い答えを2つと、比較的長い意見を1つ、解答することである。
- ・各テストに3つの質問から成る電話調査は1つ。
- ・受験者は質問に準備時間なしですぐに解答する。初めの2つの質問に解答するのに15秒、3つ目の質問に解答するのに30秒与えられる。
- ・解答は問題1-3の問題と同じ点に加え、内容の妥当性と完成度という点からも測定される。

出題内容は、電話調査という設定で、身近なトピックに関する三つの設問に答えるというものとなります。事実に基づく短い答えを二つと、比較的長い意見を一つ解答していくのです。この問題では、実際の会話と同じように、設問を聞いた後すぐに解答しなければなりません。解答時間は、初めの二つの設問は15秒、最後の設問は30秒です。

●**提示された情報に基づく応答問題**【資料5】

7～9問目は、「提示された情報に基づく応答問題」です。問題のレベル、問題設計の目的は、4～6問目と同様です。

ここでは、表示されたアジェンダを見ながら、三

【資料5】提示された情報に基づく応答問題 問題7-9

- ・この問題は、受験者が日常生活において、また仕事上必要なやりとりをするために、適切に言葉を選択し、使うことができるという能力を持っているかの裏付けとなる。
- ・問題はアジェンダに関する3つの質問から成る。
- ・この問題はアジェンダに関する事実に基づく短い答えを2つと、アジェンダの情報を要約する比較的長い答えを1つ、解答することである。
- ・各テストにアジェンダ1つおよびそれに関する質問は3つ。
- ・受験者は、質問に準備時間なしですぐに解答する。初めの2つの質問に解答するのに15秒、3つ目の質問に解答するのに30秒与えられる。
- ・解答は前の問題のタイプと同じ点から測定される。

【資料6】解決策を提案する問題 問題10

- ・この問題は、受験者が一般的な職場において、筋道の通った継続的なやりとりができるという能力を持っているかの裏付けとなる。
- ・問題は、ある状況や、問題、質問を提示する1件のボイスメール。
- ・この問題は電話をかけてきた人の疑問・質問にメッセージという形式で答え、解決策を提案することである。
- ・各テストにこの問題は1問。
- ・受験者はこの問題の準備に30秒、解答に60秒与えられる。
- ・解答は前の問題のタイプと同じ点から測定される。

つの設問に解答する問題が出題されます。アジェンダに関する事実に基づく短い答えを二つと、アジェンダの情報を要約する比較的長めの答えを一つ解答していくのです。アジェンダは、主に会議や1日のスケジュールなどです。受験者は設問のすぐ後に解答しなければなりません。初めの二つの設問への解答時間は15秒、最後の設問の解答時間は30秒です。

●**解決策を提案する問題**【資料6】

10問目は「解決策を提案する問題」です。上級レベルの受験者を評価することをねらいとしています。この問題は、受験者が一般的な職場において、筋道の通った継続的なやりとりができる能力を持っているかの裏付けとなる証拠を収集することを目的として設計されています。

出題内容は、ある状況や問題、あるいは質問についてのボイスメールメッセージを聞き、電話をかけてきた人の疑問・質問に対してメッセージを残すという形式で答え、解決策を提示するというものです。受験者には準備に30秒、解答に60秒が与えられます。

●**意見を述べる問題**【資料7】

11番目は「意見を述べる問題」です。問題のレベル、問題設計の目的は10問目と同じです。

出題内容は、あるテーマについて自分の意見とその理由を述べるというものです。受験者は二つ以上の意見が持たれ得るあるトピックに関しての発言または質問を読み、音声も聞いた上で、その

【資料7】意見を述べる問題 問題11

- この問題は、受験者が一般的な職場において、筋道の通った継続的なやりとりができるという能力を持っているかの裏付けとなる。
- 題材は、2つ以上の意見が適切に考えられる1つの問題から成る。
- この問題は、意見を表明し、(根拠や理由を加えて)その意見の裏付けをすることである。
- 各テストにこの問題は1問。
- 受験者はこの問題の準備に15秒、解答に60秒与えられる。
- 解答は前の問題のタイプと同じ点から測定される。

トピックについて意見を表明し、根拠や理由を加えてその意見の裏付けをしていくことが求められます。準備に15秒、解答に60秒が与えられます。

以上、11の問題によって、TOEICスピーキングテストでは発音、イントネーションとアクセント、語彙と文法の用法、流暢さ、発話能力、といった幅広いスピーキングスキルを測定します。

**TOEICライティングテスト**

TOEICライティングテストの実施目的は、受験者が国際的な職場環境において、効果的にコミュニケーションをするために必要な書く能力をどれだけ備えているかを測定することです。

この目的に沿うため、初級、中級、上級レベルの受験者を測定する3種類のタスクからなるテストを開発しました。出題数は全部で8問あり、テスト時間は約1時間です【資料8】。

それでは各問題についてご説明いたします。

●**写真描写問題**【資料9】

最初の5問は、「写真描写問題」となります。初級レベルの受験者を評価することをねらいとしています。この5問は適切な語彙を使用し、正しい文法で文を作成(従属節を含む)できるという能力を持っているかの裏付けとなる証拠を収集することを目的として設計されています。

出題内容は、ある1枚の写真を見ながら、与えられた二つの語(句)を使い、その写真を描写する1文を作成するというものです。5問に8分で解答します。

【資料8】TOEICライティングテスト タスクの種類

| 問題番号 | タスク       | 評価基準                                                                                                            |
|------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1-5  | 写真描写問題    | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 文法</li> <li>• 写真と文章の関連性</li> </ul>                                     |
| 6-7  | Eメール作成問題  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 文の質と多様性</li> <li>• 語彙</li> <li>• 構成</li> </ul>                         |
| 8    | 意見を記述する問題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 理由や例を挙げて意見を述べているか</li> <li>• 文法</li> <li>• 語彙</li> <li>• 構成</li> </ul> |

【資料9】写真描写問題 問題1-5

- ・この問題は、受験者が、適切な語彙を使用し、正しい文法で文を作成(従属節を含む)できるという能力を持っているかの裏付けとなる。
- ・問題の題材は1枚の写真と2つの単語または語句から成る。
- ・このタスクは写真について与えられた単語あるいは語句を使って1文を書くことである。
- ・各テストにこの問題は5問。
- ・受験者は5問を完了するのに8分与えられる。
- ・解答は文法、写真に対する文章の妥当性という点から測定される。

●Eメール作成問題【資料10】

6、7問目は「Eメール作成問題」です。中級レベルの受験者を評価することをねらいとしています。この問題は受験者が簡単な情報、質問、指示、話等を伝えるために、複数の文で構成される文章を作成することができる能力を持っているかの裏付けとなる証拠を収集することを目的として設計されています。

ここでは、25～50語程度のEメールを読み、与えられた指示に従って返信のメールを作成することが要求されます。指示には三つの要件が書かれており、受験者はそのすべての要件を満たすようにEメールを書かなければなりません。解答時間は1問につき10分です。

●意見を記述する問題【資料11】

最後の8問目は「意見を記述する問題」です。上級レベルの受験者の評価をねらいとしています。この問題は、複雑な考えを表すために、状況に応じて理由、根拠、詳しい説明などを行いながら複数の段落から構成される文章を作成できる能力を持っているかの裏付けとなる証拠を収集することを目的として設計されています。

ここでは、身近なトピックに関する記述や質問を読み、そのトピックに対する自分の意見を、意見の理由や根拠を加えつつ250～300語程度で書くことが要求されます。解答時間は30分です。

以上の8問を出題し、TOEICライティングテストでは使用する語彙の範囲と適切さ、文法、内容の一貫性と構成、文の多様性といった幅広いライ

【資料10】Eメール作成問題 問題6-7

- ・この問題は、受験者が、簡単な情報、質問、指示、話等を伝えるために、複数の文で構成される文章を作成することができるという能力を持っているかの裏付けとなる。
- ・問題の題材は1件の短いEメールと1セットの指示。
- ・受験者は問題に応え、指示された3つの要件を完了するようなEメールを書かなければならない。
- ・各テストにこの問題は2問。
- ・受験者は、Eメールを書き終えるのに1問につき10分与えられる。
- ・解答は語彙、構成、文の構造の点から測定される。

【資料11】意見を記述する問題 問題8

- ・この問題は、受験者が、複雑な考えを表すために、状況に応じて理由、根拠、詳しい説明などを行いながら複数の段落から構成される文章を作成することができるという能力を持っているかの裏付けとなる。
- ・この問題は与えられた題材を基に意見を記述する。
- ・この問題は自分の意見を、根拠や理由など裏付けを加えつつ、250～300語程度で記述することである。
- ・各テストにこの問題は1問。
- ・受験者はこの問題を完了するのに30分与えられる。
- ・解答は文法、語彙、構成、意見の裏付けの点から測定される。

ティングスキルを測定します。

テストの採点・評価

TOEICスピーキングテスト/ライティングテストの問題は、テスト会場のパソコンにインターネットを介して配信されます。受験者はパソコン上で音声吹き込んだり、文章を入力しながら解答していきます。

口述・記述式解答テストの場合、どのように採点するかはテスト内容の開発と同じくらい労力を

要するものになります。しかしETSではこの分野の採点においても大変進んだ技術を持っています。その先進性を特徴付けているのが「オンライン・スコアリング・ネットワーク (OSN: Online Scoring Network)」です。

受験者の解答は、ランダムかつ匿名で、オンラインの保管場所に格納された後、OSNを通じて高度なトレーニングを受けたETSの採点者チームに割り振られます。採点は、スコアの客観性と信頼性を最大限に確保するため、一人の採点者が一つのテストのすべてを採点するのではなく、複数の採点者が一つのテストの別々のパートを採点するようになっています(詳しくは12ページ)。

このシステムを担う採点者については、【資料12】をご覧ください。

採点結果はスピーキングテスト、ライティングテストについて個々に表示されます(詳しくは13ページ)。

スコアレンジはスピーキングテスト、ライティングテストともに0~200点です。また、テストスコアを基にしたレベル別評価が、スピーキングテストでは8段階、ライティングテストでは9段階で表示されます。さらに、スピーキングテストでは、発音およびイントネーションとアクセントに関する評

価が表示されます。

公式認定証には、スコアのほか、受験者が属しているスコアレンジに特有のスピーキングおよびライティング能力評価が記載されます。こうした情報は、受験者にとって、長所をさらに伸ばし、弱点を克服するヒントとなるでしょう。

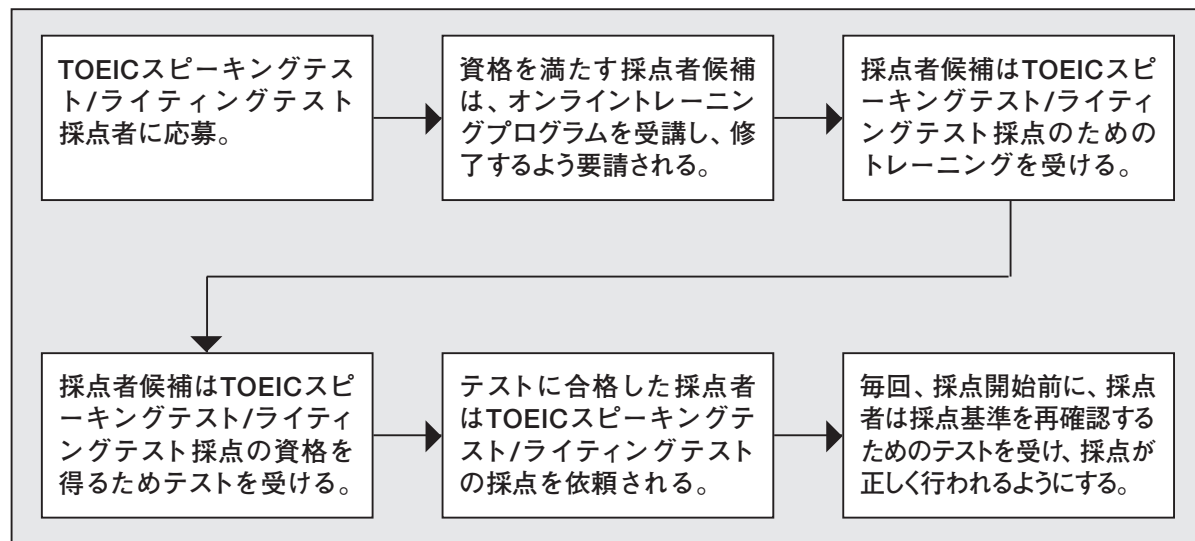
最後になりますが、TOEICスピーキングテスト/ライティングテストの開発は、TOEICテストと同様、幅広いリサーチに基づいており、ETSのミッションに忠実であろうとするものです。私たちは質と公平性の向上に努め、学習と教育の成果を支援するテストを提供することに専心しています。

TOEICスピーキングテスト/ライティングテストは、2007年1月21日実施予定の公開テストよりご受験いただけます※。また、受験準備の機会を受験者の皆さまに提供するため、「TOEICスピーキング/ライティング オフィシャルプラクティステスト」を発売しています(詳しくは17ページ)。これらの詳細については公式ホームページ(<http://www.toEIC.or.jp>)にてご紹介していますので、ぜひご覧ください。

皆さま、ご清聴ありがとうございました。

※ 個人のお客さまのご受験のみとなります。団体特別受験制度の導入時期は未定です。決定次第、公式ホームページ等にてお知らせする予定です。

【資料12】ETSオンライン・スコアリング・ネットワーク



# TOEIC®スピーキングテスト/ライティングテスト テスト結果について

## TOEIC®スピーキングテスト/ ライティングテストの採点方法

TOEICスピーキングテストでは、解答はデジタル録音され、ETSのオンライン・スコアリング・ネットワーク\*に送られます。各受験者の解答は、ETSの認定を受けた採点者によって採点されます。TOEICスピーキングテストには6つの問題形式があります。最初の4つの問題形式（Question 1 - 9）の採点には0～3のスケール、最後の二つの問題形式（Question 10 - 11）の採点には0～5のスケールが与えられます。各項目のスケールの合計に統計的処理を施し、0～200点のスコアに変換します。

TOEICライティングテストにおいても、解答はすべてOSNに送られます。採点はTOEICスピーキングテスト同様にETSの認定を受けた採点者によって行われます。TOEICライティングテストには三つの問題形式があり、最初の問題形式（Question 1 - 5）の採点には0～3のスケール、2番目の問題形式（Question 6 - 7）の採点には0～4のスケール、3番目の問題形式（Question 8）の採点には0～5のスケールが与えられます。各項目のスケールの合計に統計的処理を施し、0～200点のスコアに変換します。

※オンライン・スコアリング・ネットワーク  
(OSN: Online Scoring Network)

ETSが開発したTOEICスピーキングテスト/ライティングテストを採点するインターネット上のシステム。ETSの認定を受けた採点者がOSNにアクセスして採点します。OSNによる採点では、受験者情報と解答データは完全に分離され、採点者は受験者の国籍や氏名を知ることができません。また、採点者は受験者が他の設問でどのような解答をしているのかも知ることができません。こうして各設問の採点の独立性が保たれます。また、OSNを通して採点者は採点を始める前に必ずテスト(採点基準を一定に保つためのチェックテスト)を受け、採点の正確性を確認しなければなりません。

## 【テストと採点の信頼性】

TOEICスピーキングテスト/ライティングテストのように人によって採点されるテストでは、結果の信頼性・一貫性が何よりも重要です。ETSではテスト結果の信頼性・一貫性を維持するために、以下のような厳格な方法で採点者の採用や結果の管理を行い、テストの品質向上に努めています。

1. 採点者に応募した人物の中から資格や経験を考慮し、採点者として適性の高い人物を候補者として選びます。
2. 候補者はまずオンラインで集中的に、実際の環境に近い形での訓練を受けます。
3. テストを実施し、合格者のみがTOEICスピーキングテスト/ライティングテストの採点を行います。
4. さらに、採点者は毎回の採点を行う前にも改めてテストを受けて合格しなければなりません。このテストに合格しなければ、その日は採点を行うことができません。
5. 採点は常に採点基準やガイドラインに基づいて行われます。
6. 訓練を受けたscoring leader (採点者のリーダー) が採点の過程をモニターします。万が一、採点者に問題がある場合、その採点者は再教育を受けたり、採点者としての認定を取り消されることになります。
7. 採点結果はscoring leader とETSのテスト開発者がすべて確認しています。
8. テスト結果を発送する前に、ETSの統計の専門家がすべての採点結果を分析し検証します。

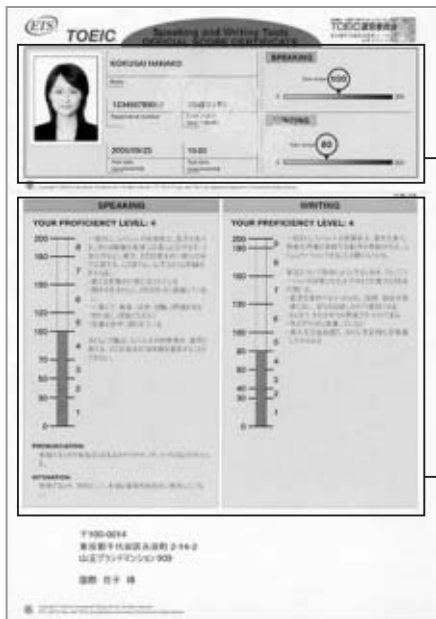
## テスト結果の表示方法について

テスト終了後、30日以内に「Official Score Certificate（公式認定証）」が各受験者宛に発送されます。また、お申し込みの際に、「テスト結果インターネット表示：利用する」をご選択いただくと、テスト結果を公式認定証の発送予定日より約1週間早くインターネットでご覧いただけます。

公式認定証にはTOEICスピーキングテスト

/TOEICライティングテストの各スコアが0～200点で表示されます。スコアは10点刻みです。また、スコアを基にした評価がProficiency Level Descriptors（レベル別評価）として、TOEICスピーキングテストでは8段階、TOEICライティングテストでは9段階で表示されます。さらに、TOEICスピーキングテストにおいては、Pronunciation（発音）とIntonation（イントネーション）についてもそれぞれ評価されます。

### Official Score Certificate（公式認定証）のサンプル



#### TOEICスピーキングテスト/ライティングテスト 公式認定証の読み方

公式認定証の上部には、受験者の写真・ローマ字氏名・受験番号・生年月日・試験実施日・試験時間・TOEICスピーキングテスト/ライティングテストの各スコアが印刷されます。これらの受験者データやスコアが記載されている部分は切り取って、企業・学校などの団体にご提出いただくことが可能です（上部のスコア部分のみの提出が求められるか、下部の評価部分も含めての提出が求められるかは、企業・学校などの団体によって異なります）。

#### Proficiency Level Descriptors （レベル別評価）

スコアを基にした評価がTOEICスピーキングテストには8段階、TOEICライティングテストには9段階で表示されます。これらのレベル別評価は、同様のスコアを取得した人々にほぼ共通する、スピーキングとライティングの一般的なスキルや言語運用能力を表しています。評価内容は、スピーキング能力とライティング能力の強みと弱点を理解するのにお役立てください。各レベルの評価内容は、公式ホームページ等で公開する予定です。

さらに、TOEICスピーキングテストにおいては、Pronunciation（発音）とIntonation（イントネーション）についての評価もそれぞれ表示されます。スコアとProficiency Level（レベル別評価）の関係は下の表のとおりです。

※図はイメージであり、実際の色・デザインとは異なる場合があります。  
※この公式認定証は公開テストの受験者のみに発行されます。

#### TOEICスピーキングテスト

| スピーキングスコア | Proficiency Level (レベル別評価) |
|-----------|----------------------------|
| 0 - 30    | 1                          |
| 40 - 50   | 2                          |
| 60 - 70   | 3                          |
| 80 - 100  | 4                          |
| 110 - 120 | 5                          |
| 130 - 150 | 6                          |
| 160 - 180 | 7                          |
| 190 - 200 | 8                          |

#### TOEICライティングテスト

| ライティングスコア | Proficiency Level (レベル別評価) |
|-----------|----------------------------|
| 0 - 30    | 1                          |
| 40        | 2                          |
| 50 - 60   | 3                          |
| 70 - 80   | 4                          |
| 90 - 100  | 5                          |
| 110 - 130 | 6                          |
| 140 - 160 | 7                          |
| 170 - 190 | 8                          |
| 200       | 9                          |

# TOEIC®スピーキングテスト/ライティングテストに関する

## Q & A

TOEICスピーキングテスト/ライティングテストに関するQ & Aにつきましては、既に公式ホームページ等にも掲載しておりますが、今号では、皆さまから特に多く寄せられている質問への回答をご紹介します。

### テスト内容について

#### Q1 TOEICテスト(リスニング/リーディング)と同じようにテストは各国共通ですか？

各国共通です。開始当初は日本と韓国での同時実施を予定しており、その後、ヨーロッパ、中国でも開始される予定です。

#### Q2 TOEICテスト(リスニング/リーディング)だけではスピーキングとライティングの能力を測ることはできないのですか？

TOEICテストではリスニングとリーディングの能力を直接測定することで、スピーキングとライティングの能力も間接的に評価していますが、スピーキングテスト/ライティングテストを受験することによって、これらの能動的な能力を直接的に測定できるようになりました。

#### Q3 TOEICスピーキングテスト/ライティングテストとTOEICテスト(リスニング/リーディング)に相関関係はありますか？

TOEICスピーキングテスト/ライティングテストとTOEICテスト(リスニング/リーディング)のスコアの相関に関しては、ある程度受験者データを収集し、それを分析するリサーチ等(実施時期は未定)の結果が出てからでないとお答えできません。

#### Q4 TOEIC LPI (Language Proficiency Interview)は存続しますか？ LPIとTOEICスピーキングテストはどう違うのですか？

TOEIC LPIは今後も存続いたします。TOEICスピーキングテストとLPIは評価方法・テスト実施方法が大きく異なります。

前者はインターネットを通じてあらかじめセットされた問題が配信され、解答もインターネットを通じてETSの認定を受けた採点者によって採点されます。

一方、LPIはETSの認定を受けたインタビュアーによる1対1のフリーカンバセーション方式(一部、ロールプレイングを含む)で行われ、採点者であるインタビュアーは受験者の解答状況・能力を判断しながらテストを進行していきます。インタビューの様子は録音され、採点は直接インタビューを行ったインタビュアーと、録音のみ聞く第2の採点者の総合評価によって行われます。

テスト結果は、スピーキングテストはスコアとProficiency Levelで表示されます。LPIはレベル別となっており、より個人の解答状況に密着した講評が付与されます。

※ただし、TOEICスピーキングテストはTOEICライティングテストとセットでご受験いただく形式で実施されます。

#### Q5 テスト内容は社会人向けですか？ビジネスの知識のない高校生・大学生でも受験できますか？

TOEICスピーキングテスト/ライティングテストは、国際的な職場環境において、効果的に英語

でコミュニケーションをするために必要な、話す、書く能力を測定するテストです。設問の設定・内容・場面には仕事に関連のあるもの、世界中で一般的に行われている日常的な活動が含まれています。ただし、解答するためにビジネス上の特別な知識は必要ではなく、固有の文化に関連するような内容も含まれません。テスト内容については、公式ホームページでご紹介しているサンプル問題等をご確認ください。

### Q6 採点はどのように行っているのですか？

ETS公認のレーター（採点者）が採点を行います（詳しくは12ページ）。

### Q7 スペルミスはどのように減点され、どの程度マイナスになるのですか？

TOEICライティングテストの採点は減点方式ではありません。基本的には、受験者が解答した文章全体を見ることで、その方のコミュニケーション能力を判断しています。もちろん、文章全体の意味が変わってしまうようなスペルミスがある場合は、結果に影響を及ぼす可能性があります。しかし、意思の疎通に問題がないと判断できる程度のスペルミスは採点に影響しません。

## 受験について

### Q8 従来のTOEICテストにスピーキングテスト/ライティングテストが追加されてTOEICは4技能のテストになるのですか？テスト結果も同じ公式認定証に印刷されるのですか？

これまで行われてきたTOEICテスト（リスニング/リーディング・マークシート方式）とTOEICスピーキングテスト/ライティングテストはまったく別のテストです。申込方法・実施方法・実施日程も異なり、テスト結果も別々に発行されます。どちらのテストも受験資格はなく、どなたでもお申し込みいただけます。なお、スピーキングテストとライティングテストはセットでご受験いただけます。

### Q9 受験資格はありますか？これまでTOEICテストを受験したことがなくても受験できますか？

TOEICテスト（リスニング/リーディング）の受験経験の有無、スコアに関わらず、どなたでもご受験いただけます。

### Q10 TOEICテスト(リスニング/リーディング)とTOEICスピーキングテスト/ライティングテストはどちらを先に受験するべきですか？

必要とされる情報やフィードバックを得られるテストの受験をお勧めします。TOEICテスト（リスニング/リーディング）においてはこれまでリスニングとリーディングという受動的な能力を客観的に測定することにより、スピーキングとライティングという能動的な能力までも含めた、英語によるコミュニケーション能力を総合的に評価してきました。スピーキングとライティングという能動的な能力を直接的に測定する必要性が生じた段階でTOEICスピーキングテスト/ライティングテストの受験をお勧めします。ただし、英語学習の観点から見れば、どちらのテストを先にご受験いただいても問題はありません。

### Q11 いつ受験できますか？

年24回（毎月1回 [土曜または日曜]、午前・午後に1回ずつ）公開テストを実施する予定です。

2007年1月～3月の実施日は1月21日（日）、2月10日（土）、3月11日（日）を予定しています。

### Q12 同一受験者が1日に2回受験することはできますか？

できません。

### Q13 団体特別受験制度でも受験できますか？

団体特別受験制度の導入時期は未定です。決定次第、公式ホームページ等でお知らせいたします。

## Q14 どのように受験するのですか？

紙と鉛筆によるテストではなく、ETS認定テスト会場のパソコンを使用して受験していただきます。iBT（「Internet-based test」の略称）というテストシステムにより、試験会場のパソコンにインターネットを介してテスト問題が配信され、受験者はパソコン上でヘッドセットを使用して音声を吹き込んだり、文章をキーボードで入力して解答します。

## Q15 自宅のパソコンからでも受験できますか？

ご自宅ではご受験いただけません。ETS認定テスト会場で、備え付けのパソコンを使用してご受験いただけます。

## Q16 所要時間はどのくらいですか？

試験が約1時間20分、受付などに30分程度かかりますので、合計で約2時間程度とお考えください。

## Q17 スピーキングテストとライティングテストの間には休憩がありますか？

休憩はありません。スピーキングテスト終了後に続けてライティングテストをご受験いただけます。

## Q18 タイピングが苦手だと、受験に影響しますか？

ライティングテストはパソコンのキーボードを使用しますので、事前に英文の入力に慣れておくことをお勧めします。

## Q19 スペルチェック機能を使つての受験はできますか？

受験中にスペルチェック機能を使うことはでき

ません。スペルミスの採点への影響についてはQ7 (15ページ) をご確認ください。

## Q20 ノートパソコンやヘッドセット(マイク付のヘッドフォン)を持ち込んでの受験はできますか？

受験の際はTOEIC運営委員会が指定したパソコン、ヘッドセットを使用していただきます。

## Q21 隣の人の声が受験の妨げになりますか？

テストご受験の際は、全員にヘッドフォンを着用いただきます。その状態でもほかの受験者の声がまったく聞こえないというわけではありませんが、通常の声であれば試験に支障はございません。受験者には大きな声を出さなくてもクリアに録音されることを事前に説明しますので、ご安心ください。試験会場内は完全な無音状態にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

## Q22 受験後、何日間でテスト結果が分かりますか？

テスト終了後、30日以内に「Official Score Certificate (公式認定証)」が各受験者宛に発送されます。

## Q23 TOEICスピーキングテスト/ライティングテストを受験するには、どのような準備が必要ですか？

サンプル問題、公式教材の『TOEICスピーキング/ライティング オフィシャルプラクティステスト』(詳しくは17ページ)、および『TOEICスピーキングテスト/ライティングテスト 公式ガイドブック』(2006年11月発売予定)を利用して、問題形式に慣れておくことをお勧めしています。また、TOEICライティングテストはパソコンのキーボードを使用しますので、事前に英文の入力に慣れておくことをお勧めします。

テスト準備に最適

# TOEIC®スピーキング/ライティング オフィシャルプラクティステストのご案内

TOEICスピーキング/ライティング オフィシャルプラクティステストは、TOEICスピーキングテスト/ライティングテストの予行演習ができるインターネット上の練習テストです。TOEICスピーキングテスト/ライティングテストと同じくETSにより制作されており、問題形式、問題数、難易度、テスト時間も実際のテストと同じですので、本番のテストに向けた受験準備に最適です。

テストの結果は、TOEICスピーキングテスト/ライティングテストの予想スコアの範囲が、スピーキングテストでは4段階、ライティングテストでは5段階で表示されます。また、段階ごとに学習アドバイスもフィードバックされます。なお、解答はETS認定のレーター(採点者)により採点され、

結果はインターネット・サービス(個人向け)サイト内でご覧いただけます。

プラクティステストは、24時間いつでもご自宅のコンピュータでご利用が可能です。実際の受験に向けた準備にご活用ください。



|       |                                                                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問題形式  | TOEICスピーキングテスト/ライティングテストと同じ                                                                                            |
| 所要時間  | TOEICスピーキングテスト/ライティングテストと同じ<br>※約1時間20分(スピーキングテスト 約20分/ライティングテスト 約60分)                                                 |
| 価格    | 4,935円(うち消費税等235円)<br>※スピーキングテストとライティングテストはセットでのお申し込みとなります                                                             |
| お申込方法 | TOEICインターネット・サービス(個人向け)よりお申し込みください。プラクティステストはTOEICインターネット・サービス(個人向け)内でご提供いたします。<br>※TOEICインターネット・サービス(個人向け)へのご登録は無料です。 |

## ■お問い合わせ先

(財)国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC運営委員会 iBTオペレーションセンター  
TEL:03-5521-6077(土・日・祝日・年末年始を除く10:00~17:00)

ETS TOEIC Bridge

## TOEIC Bridge®公開テスト 実施要領

### ■公開テスト試験日・申込期間および結果発送予定日

| 回数   | 試験日            | 申込期間                | 結果発送予定日  |
|------|----------------|---------------------|----------|
| 第22回 | 2007年 3月 4日(日) | 12月20日(水)~ 1月31日(水) | 4月 6日(金) |
| 第23回 | 2007年 6月 3日(日) | 4月 2日(月)~ 5月 1日(火)  | 7月 6日(金) |

※インターネット申込の場合は締切日翌日の正午までお申し込みができます。  
※郵送申込の場合は締切日翌日までの消印がついた申込書が有効です。

### ■受験地(2006年10月現在)

札幌・仙台・埼玉・千葉・東京・神奈川・名古屋・京都・大阪・神戸・岡山・広島・福岡

### ■受験料 4,200円(うち消費税等200円)

### ■申込書の入手方法

各受験地近辺の有名書店にて入手いただくか、TOEIC Bridge事務局東京業務センターへご請求ください。公式ホームページからの受験申込も可能です。

財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

### TOEIC運営委員会 TOEIC Bridge事務局

東京業務 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル  
センター TEL (03) 5521-6007 FAX (03) 3581-4783

公式ホームページ <http://www.toeic.or.jp>

## TOEIC® / TOEIC Bridge® 教員向けセミナーを開催

(財)国際ビジネスコミュニケーション協会では、高校の英語教員の皆さまを対象に「TOEIC/TOEIC Bridge教員向けセミナー」を開催しております。当セミナーは、生徒の英語能力向上に向けた授業方法や指導力向上への取り組み、その中でのTOEICテスト、TOEIC Bridgeの効果的な活用方法などについて、幅広い情報交換の場としていただくことを目的とするものです。

去る8月5日(土)には名古屋、8月26日(土)には東京にて開催。文部科学省の構想を受けた都道府県教育委員会による英語教員研修講師も務める(株)アイ・シー・シー代表取締役 千田潤一先生による基調講演の後、名古屋会場では暁高等学校様、三重県立宇治山田商業高等学校様より、東京会場では神奈川県立鎌倉高等学校様、昭和女子大学中高部様よりTOEICテスト/TOEIC Bridge活用事例をご発表いただきました。両会場とも多くの方にご参加いただき、「実践例が参考になった」などご好評をいただきました。

なお、当セミナーは今後、11月18日(土)に仙台、

12月2日(土)に大阪にて開催予定です。詳細については、公式ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先：

TOEIC/TOEIC Bridge教員向けセミナー事務局  
TEL:03-3508-1245(直通)/FAX:03-3508-1696



千田潤一先生



◆第127回(2006年11月26日実施)より、甲府、高松、宮崎、那覇の4都市において11月にもTOEIC公開テストが実施されます。そのほかの実施月は受験地によって異なりますので、ホームページなどでご確認ください。当協会では、今後とも皆さまのご要望にお応えすべく、受験会場の設置や実施回数の増加を検討してまいります。

◆2006年TOEIC研究会(東京)を来る11月14日(火)に都市センターホテルで開催します。同研究会では、リコー・ヒューマン・クリエイツ株式会社様、三井物産株式会社様に活用事例をご紹介いただく予定です。詳細につきましては、公式ホームページ等でご案内申し上げます。同研究会の内容につきましては、報告書がまとまり次第、ご案内申し上げます。

◆11月10日に総合情報誌『GLOBAL MANAGER』27号が発行されます。今号では「苦境を乗り越えて」をテーマに、セイコーエプソン株式会社代表取締役会長 草間三郎氏をはじめ、様々な苦境に果敢に挑戦し、打ち克ってきた各界の方々からお話を伺っております。入手(無料)をご希望の方は備考欄に第27号希望と明記の上、ホームページ(<http://www.toeic.or.jp/ghrd>)よりお申し込みください。

発行  
財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

### TOEIC運営委員会

東京業務 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル  
センター TEL (03) 3581-4701 FAX (03) 3581-4783

大阪業務 〒541-0059 大阪市中央区博労町3-6-1 御堂筋エスジービル  
センター TEL (06) 6258-0224

インターネットによる受験申込とテスト情報の閲覧は、公式ホームページまで  
<http://www.toeic.or.jp>

Copyright © 2006 by Educational Testing Service. All rights reserved.  
ETS, the ETS logo, and TOEIC are registered trademarks of Educational Testing Service.

本紙の無断転載・複製を禁ず